



校友会エンブレム。R  
に龍が絡みつきます。

三度目の正直、なるか!?

### 龍谷大学校友会福岡県・北豊支部

#### 設立総会、盛大に開催!!



去る7月1日、リーガロイヤルホテル小倉におきまして標記総会及び祝賀会が開催され、校友60名の参加がありました。設立総会では、その議事で出席者より議長に選出の村上充生氏(1972年・文卒)進行のもと、設立準備委員会より提案された会則・執行部役員・事業計画・予算がそれぞれ審議、承認され、ここにめでたく「龍谷大学校友会福岡県・北豊支部」が誕生しました。

その後、湯口副会長より仁保支部長への支部旗授与、池田副学長、湯口副会長による祝辞と続き、最後に参加者全員で懐かしい学歌を斉唱し、つつがなく設立総会は終了しました。

記念撮影をはさんで続いて行なわれた祝賀会では、仁保支部長の挨拶、霍野廣紹氏(1974年・文卒)による乾杯の後、ご来賓もまじえての楽しい歓談の時間となりました。また、沓屋敬之氏(2001年・文卒)進行のゲームでは1956年卒の大先輩から2011年卒の期待の新鋭までいっしょになって定番のじゃんけんゲームやビールの早飲み等、さらには8名出席の女性による風船割りまで行なわれ、一層盛り上がった時間となりました。

最後に真田慶秀氏(1986年・文卒)が音頭をとり、これも定番である「龍谷大学逍遙の歌」を全員で歌い、コンパに明け暮れた学生時代を思い出したことでした。

今後、更なる躍進が期待される所です。



支部長 挨拶

仁保 一正

(1974年・文学部卒)

このたび龍谷大学校友会福岡県・北豊支部の設立総会を開催できましたこと、ご参加いただきました校友の方々、遠路お祝いに駆け付けて下さいました龍谷大学・池田副学長、校友会・湯口副会長はじめ7名のご来賓の皆さま、設立総会までの準備にご苦労いただきました設立準備委員各位に、深く感謝申し上げます。

ご来賓の皆さまからは「設立総会で60名もの参加はすごいですね!」とお言葉をいただき、また、「女性も8名もの参加があり、今後、校友会女子会『龍Ron小町』の北豊支部立ち上げも楽しみです」とも言われました。

福岡県下での校友会立ち上げは二度ほどありましたがそのつど立ち消えとなり、今回はまず、浄土真宗本願寺派(西本願寺)の区分である「北豊教区(福岡県のうち、江戸時代、豊前国に所属していた地域)」を中心とした校友会として発足いたしました。同じく「福岡教区」を範囲とする「福岡支部」が今年度中に発足予定となっておりますので、今後、合同開催もあることだと思えます。

今後、会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に協力することを目的に親睦・交流の会を少しでも多く重ねていきたいと思っております。会員の皆さまには一人でも多く校友の輪を広げていただき、楽しく、活力のある会にしていきたいと思いますよう、ご協力、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。



校友リレーエッセイ

☆なんと無謀な企画か！非難を恐れず編集部  
の独断でこんな企画をたててみました。パト  
ンがどこまで受け渡させるか、どうぞご協力  
下さい。S・Kさん、次はあなたです！

初めて知った「建学の精神」

1980年・文学部卒

大江智城



昨年の秋ごろより、縁あってこの「龍谷大学校  
友会／福岡県・北豊支部」の設立に関わらせてい  
ただいてきました。10年ほど前には福岡県全体の  
支部があったそうですが、諸事情にてすぐに休止  
状態となり、このたびは地域を縮小し再結成をと  
いうことで話は進んでいきました。

今年に入って二度四度と役員会を開きこのたび  
の設立総会の運びとなりましたが、その間、回り  
に入会を勧める立場として大学についてより深い  
情報はないかと何となく探していると、いろいろ  
と面白いものに出会いました。

行橋の図書館でふと思いついて大学紹介の本を  
見ていたとき、あまりに面白かったので龍谷大学  
の欄だけでもコピーを取ったのですが、そこに  
は次のように紹介されていました（『大学図鑑！

2017『ダイヤモンド社刊、オバカズユキ監  
修。表紙には「ぶっちゃけ超リアル！」とのコピ  
ーが）。

●歴史と基本的な立場 1639（寛永16）年、  
西本願寺により設置された「学寮」に始まる。か  
つては「仏教会の東大」的な大学だった。近年は  
「浄土真宗の精神」を一応軸とする中堅総合大学  
に。

●学生の気質 勉強できるとはいない難いがアホで  
もなく、金持ちは少ないが貧乏人も少ない。特に  
強い個性はなく、淡々としたマイペースな学生が  
多い。大学によく馴染んでいる。

●世間の評判 坊さんの学校。仏教。歴史が古  
い。地味。校舎がきれい。まじめそうなお学生が多  
い。おとなしい。居心地よさそう。関西圏では知  
名度の高い伝統校だが、全国的には無名。

線の部分は思わず笑ってしまいました。が、  
こんな評に文句もいわず、苦々しくも思わず受け  
入れてしまうのがまた龍大生気質なのでしょうか  
（私だけか!?）……

笑ってばかりもおれず、他に何かをと本棚をの  
ぞいていると、龍谷大学宗教部編輯発刊の「りゅ  
うこくブックス」という本に「建学の精神」と題  
された一文がありました。そこには「本学は、阿  
弥陀如来の願いに生かされ、真実の道を歩まれた  
親鸞聖人の生き方に学び、へ真実を求め、真実に

生き、真実を顕かにする」ことができる人間を育  
成します」とあります。

また「龍大の香り」と題した一文には、本学O  
Bで、プロ野球の元阪急ブレーブス球団社長の溪  
間秀典氏が学内の講演会において「（前略）その  
一度と繰り返すことのない人生において、勉強も  
せず話を聞くこともせずに、仏に背を向け真理に  
背を向けて一生を終わってゆく人のなんと多いこ  
とか。せっかく人間に生まれて、せっかく龍大に  
学んで仏法に遇わなかったら、この世の中に人間  
に生まれてきた甲斐がないんじゃないか」と話さ  
れたとありました。

学生時代、クラブ活動（吹奏楽部）に没りきり  
で、真実や仏どころか教室にすら背を向けていた  
私にとって、今更ながらに初めて知った「建学の  
精神」でした。

しかし、自分では気付かずとも、これも龍大で  
のお育てでしょうか（?）。卒業後ではあります  
が、お蔭さまでいま浄土真宗の一カ寺の住職とし  
て、仏法に、真理に向かい  
合つての日暮しを味わわせ  
ていただいています。

大学時代の思い出とともに  
に、そんな思いも語り合え  
る校友会を築いていければ  
と思うところです。



龍大紹介ページのカット



事務局では設立総会を受けて、名簿の整理や今後の活動について取組み中です。それにあたり、以下のことをよくお読みいただき、よろしくご対処いただきますようお願い申し上げます。

1、会員登録のお願い

現在、支部としての正式な会員名簿の作成を行なっていますが、へ入会申込書の提出へ年会費の納入の2点をもつて会員登録とさせていただきます。つきましては、

- ①入会申込書未提出の方には必要事項を記入いただき、事務局までお届け下さい。今後、卒業年次や学部により市町村単位くらいまでの住所をつけた、会員用の名簿を作成したいと思っています。

\*今後、転居やそれに伴う退会、またはそれに類する名簿上の記録が変更されるような際には、事務局まで必ずその旨ご連絡下さい。

- ②年会費に関して、「設立総会資料」中、会則の第9条をご覧ください。1千円を選択の方は同封の郵便局用振替払込書（青色）をそのままご利用いただき、永年会費3万円を選択の方は、お手数とは存じますが1千円の数字を訂正するか、郵便局にて新規ご記入のうえ払い込んでいただきますようお願いいたします。

2、会員勧誘、情報提供のお願い

お知り合いの校友で、まだ連絡がいつておられない方がおられましたらどうぞ入会をお勧め下さ

い。また、お勧めいただく方の住所等一報いただきましたら、事務局よりご案内申し上げます。

\*早速ですが、設立総会受付名簿に「土尾篤史」さん、「中野弘美」さんのお名前がありました。連絡先がわかりません。ご存じの方がおられましたらご連絡下さい。

3、会報への投稿について

会員同士、この校友会を通じて交流を図っていただければと思っております。そこで、

- ①この会報（会員を中心に100部くらい印刷、配付予定）では皆さんより宣伝・広告を募集いたします。個人的なことで結構です。イベントや店舗、出版物等、何か皆さんにお伝えしたいこと、お誘いしたいことがあればお申し出下さい。掲載料無料、ただし事務局にてある程度の取捨選択をさせていただきます。ご了承下さい。

事務局より  
—お願いとお知らせ—



なお、葬儀、仏事の受け入れや納骨堂、墓地の関係等、寺院としての宣伝・広告は遠慮下さい（何しろ会員の7、8割がその筋の方と思われるので。悪しからず）。

- ②コーナー開設のご意見や写真の投稿等、何でも結構です。何かあればご連絡下さい。どうぞ楽しい会報作りにご協力お願い申し上げます。

③この会報の名称を募集いたします。簡潔にして味わいのある名称はないでしょうか。採用の方には粗品を進呈いたします。奮って応募下さい。

編集雑記

▼成り行きで会報まで制作することとなりました。でもやる以上は読んでいただく皆さんによるこんでもらえる、そんな会報を目指したいと思っています。▼これは編集というよりは事務局としての雑記になります。総会までに十分に話し合っただけの会則ですが、いま考えば慶弔規定が必要かと思ってみたり、特に不備を実感するのが同一家族に対する会費の件です。▼ご存じの方も多々ありますが、この北豊支部は浄土真宗の僧侶、寺族が大半を占めています。そのため名簿を整理していると、家族で校友というご家庭が多数ありました（実は小生宅も4名います）。それを一律というのなんだかナァと、事務局の立場を離れて思ってしまった。早速役員会にて提案をと思いましたが、しかしこれが本支部の特徴であり、今後この特徴のプラス面とマイナス面を踏まえていくことが大切なのでしょう。▼一つ間違うと、坊さんの、ああいつものメンバーか、という会になりかねません。坊さんも、そうでない人も、この校友会ならではの楽しみが味わえる、そんな会になれたらいいなと思っています。



・総会終了後の記念撮影。これぞ記念撮影、「The記念撮影」という感じの、立派な一枚になりました。

# 龍谷写真館 in 北豊



## 設 & 立 祝 賀 会



・右、仁保支部長と湯口副会長による授与された支部旗披露。皆が拍手のなか、左端、進行のM氏はなぜか合掌を!?



・祝辞をいただく池田勉龍谷大学副学長（左）と湯口博校友会副会長（右）。遠路、有難うございました。今後ともよろしく願ひいたします（特に助成金を……）。



・右、祝賀会にてじゃんけんゲームを楽しむ参加者。時に定番も大切です。上、ゲーム前に自己紹介中の女子会員の皆さん。勝手に期待されても……という声も聞こえてきそうですが、無理にならないよう、ぼちぼちお付き合い下さい。

